1972年～2000年

東北・新潟病理検討会の歩み

―第50回を迎えて―

日本病理学会東北支部

はじめに ― 東北・新潟病理検討会の歩み ―

前東北支部長　若狭　治毅

日本病理学会の社団法人化に伴って各地区に支部が設立されたため，東北・新潟病理検討会（TNPC）は従来の任意的団体から発展的に解消することになり，この機会にこれまでの実績を形として残すことが話し合われた。

多くの病理医が長年にわたって真摯な発表と，活発な討論を展開してきた検討会の歩みを一冊にまとめ，次の世代の活動と発展の糧にすることも意義深いと考えられた。丁度，私が支部長の任にあった関係で，この企画を実現するため資料の蒐集から始め，収録の完成までかなりの期間を要したが，多くの方々のご協力によって幸いゴールに辿りつくことができた。

TNPC は大西義久，綿貫勤両先生の肝いりで，この地域における病理医が各施設の枠にとらわれず，日頃悩んでいる症例について自由に討論し合い，科学的に何らかの結論を出す場を共有しようとすることから始まった。第一回が 1972 年（昭和 47）8 月に秋田市で開かれ，第二回が少し間をおいて 1976 年 8 月に新潟市で開催されている。私自身もアメリカで 3 年間，忌憚なく意見を言い合うカンファレンスを経験してきて余り日が経っていなかったので，お互いに遠慮せずに話し合う雰囲気の生まれることを願ったものである。ついで 1977 年には並木恒夫，中村克宏両先生の企画で生検例セミナーが開催され，TNPC は剖検，生検の両方を対象とするようになった。このため，この年から検討会を年に 2 回定期的に開くようにし，夏期(7, 8 月）は剖検例を中心に各県持ち回りで，冬期（2 月）は生検例について仙台市で行われたが，夏期の会も次第に生検例が多くを占めるようになった。

やがて 1982 年には夏，冬共に日本病院病理医協会東北新潟支部標本交見会（JSHP-TN）が加わることになったが，TNPC と JSHP-TN はいつも同じ世話人の元で同時期に開催され，この年から土曜日午後から翌日曜日午後まで 2 日間に亘るようになった。各世話人のご厚意で懇親会も企画され，お互いに大いに語り合い親睦を深めたものである。この間，並木先生が両方の代表として運営に当たってこられた。なお，病理医協会の支部長は，笹野伸昭先生が初代を，並木恒夫先生が二代目を務められ，並木先生が 1994 年国立仙台病院を退官後，名倉宏先生が三代目の支部長となられた。

病理医協会の交見会では教育講演，シンポジウム等も加わり，TNPC と共に参会者に裨益するところ大であった。その後日本病理学会東北支部（JSP-TN）の設立に伴って両検討会は 1999 年から支部の活動に一本化されたが，この会も回を重ね 2000 年 2 月には第 50 回の節目を迎えるに至った。

本記念誌は第 50 回までの検討会における演題，診断，発表者を収録し，これに支部会員からの投稿を加えて一冊としたが，これはいわば東北・新潟地区の病理医が歩んだ歴史の一里塚である。21 世紀には医学の進歩に支えられ，医療に寄与しうる，より充実した検討会として発展し飛躍することを期待したい。

本誌をまとめるに当たり，これまで検討会を支えてこられた代表者，各世話人並びに幹事を始め，広く支部会員の方々から多くの原稿を頂戴し，お陰で立派なものとなり深く感謝している。

なお編集の実務については，手塚文明支部長，岩間憲行先生および事務局の献身的な協力によるところ大であった。厚くお礼を申し上げたい。

ミヤギノハギ
（宮城県花）

第1回　TNPC

1972年8月
秋田市泰山荘　世話人：綿貫　勤

主題：胃疾患
話題提供：胃の異型上皮について　　秋田大第一病理　石舘卓三

註；詳しい記録が残っていないが，各自症例を持参し，顕微鏡を見ながら合宿して討議した。

第2回　TNPC

1976年8月22日（日）
新潟市婦人会館　世話人：大西義久

特別講演：肝内胆汁うっ帯：肝内胆管の形態と機能を中心として　　新潟大第三内科　佐々木　博

1. 9ヶ月女　肝・脾腫　　弘前大第一病理　永井一徳，岡庭信一
   診断：hemophagocytic reticulosis, fatty liver＋hepatitis？

2. 50才女　cardiogenic shock　　秋田大第一病理　綿貫　勤　他
   診断：massive necrosis of liver, cardiovascular？

3. 58才男　結腸癌疑い（生検），剖検で確診されない腺癌　　岩手医大第二病理　宮川慶吾
   診断：mucinous adenocarcinoma (biopsy), necrotic tissue (autopsy), post irradiated

4. 54才男　心筋梗塞（疑い）　　弘前大第一病理　木村正方
   診断：chronic lymphocytic thyroiditis (Hashimoto's disease)＋adrenal atrophy＝Schmidt's syndrome

5. 66才女　左大腿部腫瘍を主徴とした白血病？　　秋田大第二病理　所沢　剛，高梨利一郎
   診断：leukemia or lymphoma？

6. 60才男　食道悪性腫瘍　　青森県立中央病院病理　貝森光大
   診断：squamous cell carcinoma, poorly and undifferentiated

7. 67才男　左鎖骨上窩悪性腫瘍　　青森県立中央病院病理　熊谷　宏
   診断：papillary carcinoma, thyroid, metastatic

第3回　TNPC

1977年2月18日（金）
艮陵会館　世話人：並木恒夫，中村克宏

1. 61才男　肺腫瘍　　新潟大第二病理　山内春夫，岡村明治，大西義久
   診断：lung metastasis of malignant meningioma

2. 25才女　乳腺腫瘍　　東北大第二病理　立野紘雄
   診断：stromal sarcoma？　fibrosarcoma？　malignant cystosarcoma phyllodes？

3. 41才女　甲状腺腫瘍　　岩手県立中央病院病理　田島達郎，石崎　敬，鎌田　満
   診断：carcinoma, follicular？　clear cell？

4. 44才女　肝腫瘍　　東北大第一病理　高橋　徹
   診断：liver cell carcinoma

5. 48才女　右鎖骨腫瘍　　福島医大第一病理　高橋　潔，佐藤　正
   診断：mesenchymal chondrosarcoma

6. 29才女　左頬部・上歯齦部腫瘍　　福島医大第一病理　高橋　潔，佐藤　正
   診断：mesenchymal chondrosarcoma

7. 27才男　左脛骨骨腫瘍　　東北大学第二病理　福田多禾男
   診断：fibrous dysplasia